

木島平村民のみなさんへ

# コミュニティ・スクールだより

第 2 号

平成24年11月11日  
発行者 木島平村教育委員会  
コミュニティ・スクール  
推進委員会

## 小国先生、岸先生を講師に、研修会を行いました 8/20

日程・内容

於：木島平村若者センター

### I 第1部 講演会 13:00~15:00

- 1 開会
- 2 あいさつ・講師紹介（教育長）
- 3 講演会Ⅰ 小国 喜弘 先生（東京大学大学院准教授）  
演題：小中一貫教育とコミュニティ・スクールのあり方
- 4 講演会Ⅱ 岸 裕司 先生（文科省CSマイスター）  
演題：地域の人とともにある学校づくり
- 5 質疑応答
- 6 お礼のあいさつ（推進委員長）
- 7 閉会

### Ⅱ 第2部 熟議 15:10~16:30 テーマ 地域と創りあげる学校に向けて

当日の参加者

- ・推進委員
  - ・村役場職員
  - ・村内小中学校職員
  - ・飯山市教育委員会
  - ・東京大学大学院生
- 計57名

## 講師の紹介（お二人とも今年度 当委員会の委員です）

### 講師 小国 喜弘 先生

・東京大学大学院  
教育学研究科准教授  
1966兵庫県生まれ、教育学博士。東京大学佐藤学ゼミに学び、浜之郷小学校、岳陽中学校等全国各地の「**学びの共同体**」推進校の教育改革に参画し、授業改善を精力的に指導している。木島平村には、2010年から小中学校で指導にあっている。



### 講師 岸 裕司 先生

・文科省CSマイスター  
1952年、東京生まれ  
・1986年から秋津小学校PTA会長を含む役員経験7年。以後小学校区の生涯学習の充実に努め現在に至る  
【現在】学校と地域の融合教育研究会副会長／**秋津コミュニティ**顧問／文部科学省「新しい学習環境の整備に関する調査研究委員会」委員（2001~2002年度）／千葉県生涯学習審議会委員（2003年度~） ほか



「木島平教育」というものは、親とか地域とか子どもの声が真剣に聞き取れるような環境をつくっていくことが大事です。

日本の教育の夜明けが実は木島平村から起こってくるのではないかという気がしているところです。

「スクール・コミュニティ」へという考え方は二つあります。一つは、誰でもが、いつでもどこでも学べる、生涯学習のまち育てに寄与する学校と地域をつくることです。もう一つは、誰でもが、安心して安全に学び働き暮らせる、ノーマライゼーションのまち育てに寄与する学校と地域をつくることです。

## 第2部では、「地域と創り上げる学校に向けて」で熟議

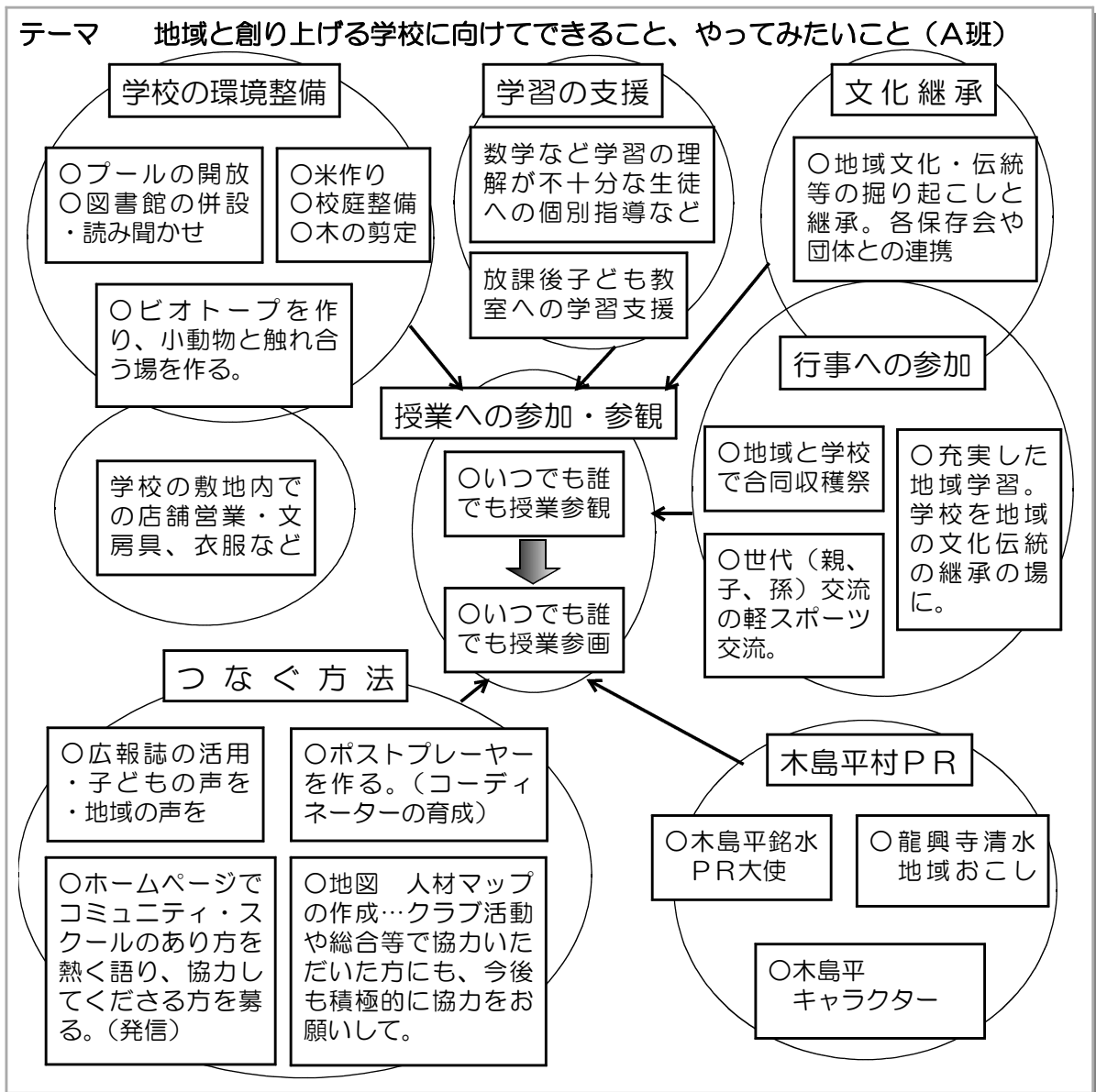
### Q1-「熟議」とはどのようなもので、何のために行ったのですか？



「熟議」とは、学校と地域の人々が、課題の解決のためにみんなでよく考え「熟慮」と「討議」を重ねる話し合いのことです。どのようにしたら「地域と創り上げる学校」になるのか、参加者の皆さんの一人一人の考えを聞いて、みんなで話し合いました。（参加者が7グループに別れ話し合いました。）

### Q2-どんなふうに熟議されたのですか？

まず、どんなテーマで話し合うのか確認します。次に、ファシリテーターと呼ばれる進行役から、テーマにそって参加者の意見や考えを付箋紙に書いてもらいます。ファシリテーターは各自の意見を模造紙に貼りながら、全体の構成を考え、小グループの熟議の様子を組み立てていきます。（下図参照）



Q3ー各グループで話し合われた内容を教えてください。



熟議で話し合われた内容をまとめたものを掲載します。これらの内容を参考にしながら、推進委員会でさらに検討をしていきます。木島平村とともにある学校づくりに向けて最善の方策を考えていきます。地域の皆さんも、こんなことならできそうだということを、事務局までお知らせください。

できそうなこと・やってみたいこと	具体的な方法
学習支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後子ども教室での学習支援（小学校）</li> <li>○放課後の空き教室での学習支援（中学校）</li> <li>○図書館の地域開放、司書の方の読み聞かせ</li> <li>○総合的な学習、社会科、家庭科等の講師に</li> <li>○農村文明塾との共同・協力関係</li> </ul>
授業への参加・参観	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ランチルームを地域の寄り合い所に</li> <li>・昔の遊びの伝承…気軽に遊びにきてもらう</li> <li>○時間割等の情報）提供。</li> <li>○村民へのシラバス（講義実施要綱）作り</li> <li>○スペシャル授業の実施</li> </ul>
地域が子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通学、下校時に散歩してもらう</li> <li>○大人からあいさつ</li> <li>○登下校見守り隊</li> </ul>
クラブ・部活動の充実 行事への参加 休日の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動・社会体育での外部指導者・コーチ</li> <li>○学校施設、プールの地域開放（休日・夜間）</li> <li>○三世代での軽スポーツ交流</li> <li>○学校を地域文化継承の場に</li> <li>○音楽会ステージ作り</li> </ul>
学校の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○米作り、校庭整備、木の剪定</li> <li>○ビオトープ作り、小動物と触れ合う場作り</li> <li>○学校周辺にクロスカントリーコースを</li> </ul>
村の資源の活用 大人も子どもも楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コーディネータをつくる</li> <li>○生涯学習とタイアップした人材バンク作り</li> <li>○匠を知る</li> <li>○持っている特技を生かして一緒に楽しむ</li> <li>○八丈島へ行こう</li> </ul>
きっかけ つなぐ方法の工夫 子どもの言葉で考える地域 木島平ブランドづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思い切った方策を</li> <li>○ふう太ネット、広報誌、回覧板の活用</li> <li>○子どもへの発信、子どもからの発信</li> <li>○木島平米からアイスクリーム作り</li> <li>○龍興寺清水、名水PR</li> </ul>
相談活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者の不安や心配に寄り添うチーム作り</li> </ul>

#### Q4 「地域とともにある学校づくり」にどんな関わり方がありますか。

すでに中学校では「農村文明塾KJH」で、地域の伝統産業、芸能、文化活動などに取り組んでいる方が講師となって講座を開いたりしています。

また、小学校や中学校に地域の方々の寄り合い所（学校運営協議会事務局）などをもうけて、公民館活動や育成会などとも連携していろいろな活動や交流ができれば、より地域の皆さんと一体となった学校づくりに関わられます。



#### コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）になると

☆地域と共に子どもを育てる学校づくりが実現します。

- 村のみなさんが関わることで、伝統・文化が受け継がれ、豊かな教育になります。
- 村のみなさんが見守ることで、より細かな教育になります。
- 村のみなさんと、先生たちと共通理解の上で、信頼される子育てができます。
- 学社のネットワークができ、村と子どもの絆が強まります。

☆ふるさと木島平をほこりに思う子どもたちが育ちます。

- 村のみなさんの体験や知識・技能が子どもたちに生かされ、ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもになります。
- 地域の行事や祭りに積極的に参加する子どもになります。



#### Q5 コミュニティ・スクールは現在どのくらい指定されていますか？

指定は、平成17年度、17校でスタートしましたが、平成24年度は、全国で1,183校（38都道府県、122市町村、幼稚園55園、小学校786校、中学校329校、高等学校6校、特別支援学校7校）が指定されています。長野県では5市町村6校が指定されています。



【文部科学広報N○154 2012 9月号より】

#### Q6 木島平村と同じような取り組みをしている地域はどのくらいですか？



平成24年度から取り組んでいる研究指定校は209校（2県80市町村）あります。そのうち長野県では、木島平村と、飯島町の2教育委員会がすすめています。また、隣の飯山市立秋津小学校では、平成22年度から学校運営協議会を設けて、コミュニティ・スクールを推進しています。

文部科学省では、今後5年間でコミュニティ・スクールの数を、全国公立小中学校の1割（約3000校）に拡大することを目標にしています。

\*小国喜弘先生、岸裕司先生の詳しい講演内容を知りたい方は、下記まで問い合わせください。

問い合わせ先（事務局）

〒389-2302 長野県下高井郡木島平村往郷839

木島平中学校 TEL (0269) 82-2032 FAX (0269) 82-2007 本山まで